



ポリクリック シリーズ

木ポジットコアドリル

# 取扱説明書



動画公開中

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。

**警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容

**注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽傷を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

### 警告

①作業場はいつもきれいに保ってください。また、作業場の周囲の状況も考慮してください。

雨中や暗所、可燃性のある液体やガスのある場所で使用しないでください。

②別紙または右の二次元コードの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意



### 注意

①使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。

②電動工具の消費電力が小さい場合は、回転が止まることがあります。右項の「使用条件」を確認して、適切な電動工具を使用してください。

③電動工具は回転モード以外で使用しないでください。ハンマー(打撃)・振動モードでの使用はカッター又はセンタードリルの破損原因となります。

④穴あけ途中は、絶対に回転を止めないでください。刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります。回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めてください。途中で回転を止めた場合は、回転を止めたままゆっくりカッターを引き抜いてください。

⑤切削片がカッターから出にくい場合はカッターをシャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。

⑥1穴毎にカッター内の切削片、切粉を取り除いてから作業をしてください。

⑦大口径(φ75以上)の穴あけは、手持ちの電動工具を使用される場合、安全のためクラッチ付き電動工具を使用してください。また、ボール盤・磁気ボール盤等をご使用いただくと、より安全に作業できます。

⑧深穴等の穴あけで切粉の排出が悪くなった時は途中で切削片を折り、取り出した後作業を続けるとスムーズに作業が行えます。切削片が折れない時はベックモーションを行いながら穴あけをしてください。

## 本製品について

### ●用途(被削材)

- ◎適合材：木材・合板、FRP、複合材料
- ◎穿孔可能材：塩ビ管、石膏ボード

※釘がある場合は、弊社ポリクリック ウッディングコアドリルをご使用ください。



### ●仕様

刃先径 (mm)	有効長 (mm)	全長 (mm)
20~25	100	125
28~45	100	120
50~160	100	126

### ●センタードリル

品名	品番	用途
センタードリルS(ハイス)	PCCCD S	φ20~45用
センタードリルL(ハイス)	PCCCD L	φ50~160用

### ●シャンク

品名	品番	適合刃先径 (mm)	仕様
Sシャンク ストレート	PCSKS	49以下	10mmストレートシャンク
Sシャンク SDSプラス	PCSKSR		SDSプラスシャンク(軽量ハイトドリル用)
Lシャンク ストレート	PCSKL	50~225	13mmストレートシャンク
Lシャンク SDSプラス	PCSKLR		SDSプラスシャンク(軽量ハイトドリル用)
Xシャンク SDSプラス	PCSKXR	50以上	SDSプラスシャンク(軽量ハイトドリル用)
Xシャンク SDS-max 回転モード	PCSKXMXK	50以上 (120以上推奨)	SDS-maxシャンク

※右の二次元コード中にある「その他共通シャンク」のSシャンク充電は、木ポジットコアでは使用できません。

※Xシャンク SDS-max回転モードは、打撃モード・ハンマーモードでご使用になられても打撃・ハンマーはかかりません。

その他  
共通シャンク



### ●使用条件

使用電動工具は下記条件を満たすものをご使用ください。  
条件を満たさないものは、絶対にご使用にならないでください。

1. クラッチ付き
2. 1500min<sup>-1</sup>以下
3. 消費電力550W以上

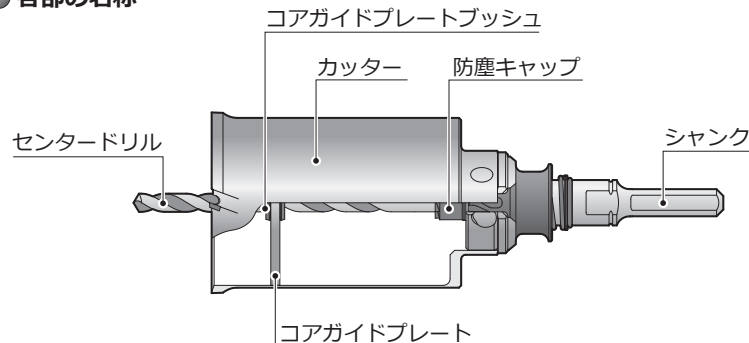
**警告** 回転モード以外で使用しないでください。

《電動工具の適正回転速度/消費電力の目安》

刃先径 (mm)	回転速度 (min <sup>-1</sup> )	消費電力 (W)
20~45	1500~800	550以上
50~80	1100~700	650以上
85~160	1100~500	750以上

注意：上記は弊社標準条件における目安です。  
穴あけ対象物の材質や固定方法などにより異なります。

### ●各部の名称



※コアガイドプレートブッシュの消費時は、新品に交換してください(品番：PCGPB)。



ユーザーと共に歩む

株式会社 **ミヤナガ**

受注センター

受付窓口

☎0120-81-3875

商品お問い合わせ窓口

☎0120-3875-14

FAX

☎0120-3875-17

4955735-3

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

URL <https://www.miyana.co.jp>

商品の仕様等は予告なく変更する場合があります。  
最新の取説は弊社ウェブサイトをご覧ください。

# 使用方法について

## ● 使用方法

- ①「使用条件」の欄を参考にし、刃先径に適した電動工具を使用してください。
- ②シャンクを電動工具に取り付けてください。  
※シャンクの取り付け方は、ご使用になる電動工具の取扱説明書をご覧ください。
- ③カッターを取り付けていない状態で右項の「センタードリルの着脱方法」をご覧ください、センタードリルをシャンクに取り付けてください。
- ④穴あけ位置中心にセンタードリルを当て、電動工具を回転させセンタードリル穴をあけてください。穴あけ中心位置にポンチなどでポンチングしておくことをお勧めします。  
(センタードリル貫通後にカッターが被削材に急激に当たるのを防ぐために、先にセンタードリル穴だけをあけてください)
- ⑤コアガイドプレートは刃先より少し内側に取り付けてください。
- ⑥カッターのシャンクへの取り付けは下記の「カッターの取り付け方法」を参考にして取り付けてください。穿孔途中で、コアガイドプレートだけを取り外すことはしないでください。コアガイドプレートはセンタードリルの抜け防止になります。※Sシャンク仕様のカッターで刃先径23.9以下を取り付ける場合、防塵キャップを外してください。
- ⑦カッターが被削材に接した後、切削が安定するまでゆっくりと切り込んでください。なるべくクラッチが作動しないよう、押し込みすぎにはご注意ください。
- ⑧穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いてください。
- ⑨切削片がカッターより出しにくい場合は、カッターをシャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。

## ● 防塵キャップ

- ・ポリクリックシャンク(S・L・Xシャンク)には、センタードリル挿入口へ切粉が入るのを防ぐために防塵キャップが付いています。
  - ・防塵キャップを装着したままで、センタードリルの着脱が可能です。
- ※単品での発売も行っています。  
Sシャンク用 : 品番 PCBCS  
L・Xシャンク用 : 品番 PCBCL



## ● カッターの取り付け方法

- 1 電動工具にシャンクを取り付けてください。
- 2 カッターのエンボス(丸型凸部)をシャンクのストッパーの爪部に合わせ、そのままカッターをシャンク側(矢印①)に押し込んでください。  
**注** カッターとシャンクに付着している切り粉やごみ等の異物は取り除いてください。

- 3 カッターをシャンク端面まで押し込んだ状態で、カッターを刃先側から見て右方向(矢印②)に回してください。

- 4 カチッと音がして、カッターがシャンクに固定されます。最後にカッターを引っ張って、しっかりと固定されたことを確認してください。  
**注** 指を挟まれケガをするおそれがありますので、ストッパーの付近に手を添えないでください。

## ● カッターの取り外し方法

- 1 シャンクのストッパーを電動工具側(矢印③)に引っ張った状態で、カッターを刃先側から見て左方向(矢印④)に回してください。

- 2 ストッパーを引っ張っている力を少しずつ緩めてください。カッターがストッパーによって押し出され、取り外せます。  
**注** ストッパーから手を離すとカッターが飛び出すので注意してください。高所作業時は落下のおそれがあるので、特に注意してください。

## ● センタードリルの着脱方法

- 1 センタードリルをシャンクに挿入してください。(防塵キャップは取り外さないでください)  
**注** センタードリルのシャンク挿入部にグリスを塗布してください。センタードリルのL型溝の変形が軽減されます。L型溝に変形が見られるものは、穿孔中に外れる危険があるので使用しないでください。

- 2 センタードリルを回転させながら押し込んでください。シャンク内の突起とセンタードリルのL型溝の位置が合い、センタードリルがシャンクの奥まで入ります。

- 3 センタードリルを奥まで押し込んだ状態で、さらに刃先側から見て右方向(矢印③)に90度回転させて、センタードリルを固定してください。

- 4 取り付け後、センタードリルを引っ張っても抜けない事を確認してください。

- 5 取り外す時は、センタードリルを軽く押し込みながら、刃先側から見て左方向に90度回転させて抜き取ります。(センタードリルは押し込みすぎると回転しません)